



新型コロナワクチン、5～11歳の小児への接種

海外では新型コロナウイルス感染症の流行が続き、日本国内でも新しい変異株であるオミクロン株が確認されましたが、東京都内の新規患者数は12月21日時点で38人と多くありません。そんな中、5歳から11歳を対象とした新型コロナワクチンの接種開始が予定されています。

日本感染症学会が2021年12月16日に発表した「COVID-19 ワクチンに関する提言（第4版）」では、5～11歳の小児への接種について、子どもたちに接種の機会が与えられることに意義はあるが、罹患したときの不利益とワクチンの安全性を比較しながら慎重な検討が必要で、重症化リスクの高い慢性疾患児や重症心身障害児、接種を希望する子どもたちが安心して接種できる体制が望まれると述べています。子どもたちに広く接種を推奨するとは書かれませんでした。

子どもに新型コロナワクチンを強く勧めない理由の一つは、現時点で日本国内の新型コロナによる子ども（12歳未満）の死亡がないことです。インフルエンザで亡くなる子どもが毎年いることを思えば、新型コロナはインフルエンザより軽い、だから皆にワクチンを勧めるとは言い難いところです。また、ファイザーやモデルナの新型コロナワクチンは、新しい技術のワクチンで、予防効果は証明済ですが、日本人の子どもでの副反応のデータがありません。さらに新型コロナの治療薬の開発が進んで、罹患してからの対応も可能かもしれないこと、新しい変異株へのワクチン効果が不確実であることも躊躇う理由となります。

その一方で、罹患すると学校に行けない、部活動などの参加ができないなど生活上の負担が大きい子どもにワクチンは有意義です。また今後、感染性と病原性の強い変異株の大流行が始まったとしても、皆がすぐにワクチン接種できるとは限らないので、接種する機会を逃すことは避けたいという気持ちもあります。そのような大流行が始まる前に国産の不活化ワクチンが利用可能になれば、効果は弱いかもしれないが国産ワクチンを待って接種する方法も選択肢の一つです。

結論として、崎山小児科では、本人や家族が重症心身障害者、妊婦、慢性疾患、受験生など個々の事情がある子どもには早い時期での接種を推奨し、それ以外の子どもでは先行する接種の状況と流行状況を見てから接種する、場合によっては国産ワクチンを待って接種するという対応をお勧めします。

あけましておめでとうございます



新型コロナウイルス感染症が2019年12月に中国武漢市で第1例目の感染が報告されてから2年が経ちました。わずか数ヶ月で世界的な流行となり、現在までに多くの方が罹患し、亡くなっています。最初の頃は想像もしていなかった未知の出来事にとまどいと、不安な日々を過ごす毎日でした。自分も罹るのではないかと、明日はこの命あるだろうかと夜考えながら眠り、いつもの朝がやって来てほっと胸をなでおろす。こんな毎日があとどれくらい続くのだろうかと思った時もありました。メディアからきこえる「今日の感染者数は～」減ったり、増えたりする数字に一喜一憂し、少しずつ変異しながら生き続けようとするコロナウイルスと人間はいつか仲良くなれるのだろうか…。数ヶ月の間でコロナの簡易的な検査キットが開発され、治療薬やワクチンもできあがり、医学と化学の進歩を痛感しました。もし万が一感染しても重症化を防ぐ有効性が高いのであれば自分の命と家族や大切な人を守るためにワクチンを進んで受けようと思います。

明るい生活を、明るい社会を、明るい子どもたちの笑顔がいつまでも続きますようにと願いを込めて、崎山小児科は今年も皆様のお役に立てるように努力してまいりたいと思います。2022年が良い年でありますように。今年もよろしく願い致します。



日本脳炎ワクチン

供給量不足でお待たせしている日本脳炎ワクチンですが、1月から徐々に供給が戻るようです。ただ完全な供給安定は4月になる見込みのため、公費の対象年齢に余裕のある方は申し訳ありませんがもう少しお待ち下さい。年齢や接種間隔がご心配な方はお問い合わせ下さい。



今月のケロケロひろば



コロナの感染拡大のためお休みしていましたが1月から再開します！

1月20日（木）14：00～15：30（事前予約制・入退室自由）

予約：電話予約 1月6日（木）10：00～（先着順）

対象：3才未満 定員：お子様6名

内容：紙しばい・みんなで子育てトーク・手あそびうた

崎山先生の当番日 『府中市民保健センター』

1/1(土) 休日診療 (9:00～11:30/13:00～16:00)